

製品名: Chk2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00075**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 61 kDa; Observed MW: 61 kDa

抗原情報

遺伝子名	CHEK2
別名	CHEK2; CDS1; CHK2; RAD53; Serine/threonine-protein kinase Chk2; CHK2 checkpoint homolog; Cds1 homolog; Hucds1; hCds1; Checkpoint kinase 2
遺伝子 ID	11200
SwissProt ID	O96017
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

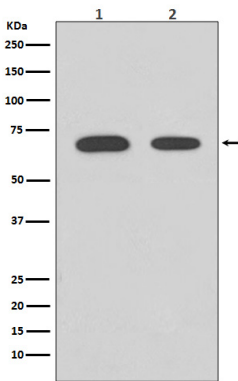
背景

これらは ATM/ATR キナーゼによるリン酸化に優先的に作用することが知られています。電離放射線（IR）、紫外線照射、またはヒドロキシウレア処理による DNA 損傷後、この領域の Thr68 をはじめとする部位が ATM/ATR によってリン酸化されます。したがって、SQ/TQ クラスタドメインは制御機能を有していると考えられます。

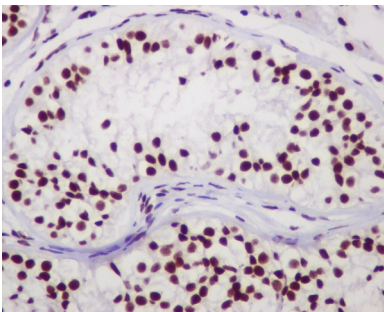
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

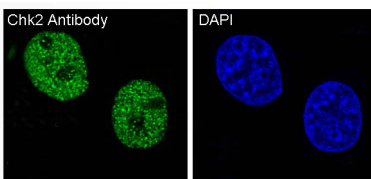
画像データ



(1) HeLa ライセート、(2) 293T ライセート中の Chk2 抗体を用いたウェスタンブロット解析。



Chk2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Chk2 抗体を使用した HeLa 内の Chk2 の免疫蛍光分析。